

初心者に伝えたい

# 研究のすすめ方

京都大学図書館機構 ラーニングサポートデスク

教育学研究科 (D1) 包 福昇 2021/07/12



# 包 福昇

ボルジギン ボヤンデゲジレフ



の  
イ  
ン  
テ  
ル  
ネ  
ッ  
ト  
の  
イ  
ン  
フ  
ル  
マ  
シ  
ョ  
ン

- ❖ 中国内モンゴル自治区出身、モンゴル人家庭で育ちながら、学校教育では中国語で教育を受け、大学では上海で金融を専攻としていた。（馬頭琴は中学校・高校の時に趣味として習得）
- ❖ 京都大学 教育学研究科 院生（D1）
- ❖ 中国の対少数民族文化統合を研究テーマとし、具体的には、1950年代の内モンゴル自治区における民族語教育の歴史がどのように形成したのか、について研究している。
- ❖ 査読論文「1950年代前半内モンゴル自治区における民族語教育の実相—『内蒙古日報』にみる漢語優位の構図—」『教育史フォーラム』（第16号）教育史フォーラム・京都、2021年。

# 「研究」とは何か

その辞書的な説明

❖ 研究：物事について深く考えたり調べたりして真理を明らかにすること。

(出典：松村明編『大辞林』(第三版)三省堂、2006年、807頁。)

❖ わかったこと：

✓ 情報の収集・処理が必要になる

✓ 真理の究明を目的とする

→ 動機／問題意識 (なぜ?) や

情熱 (知りたい!) が必要

❖ 誤解されがちな点：

▶ 1人で進めていくもの

▶ 真理の究明で作業が終了

＜行動・行為＞として「研究」を捉えている

(動詞の説明)

# 「研究」とは何か

(大学教員の立場から)

- ❖ 「大学教員にとって研究とは、それを行なうことで多数の新しい成果をあげ、論文や著書などで公表し、新しい数々の成果を教育の現場に還元すること」である。(西山2016、5頁。)
- ➔ 真理の究明、成果の公表及び社会への還元、など一連の営為が含まれる

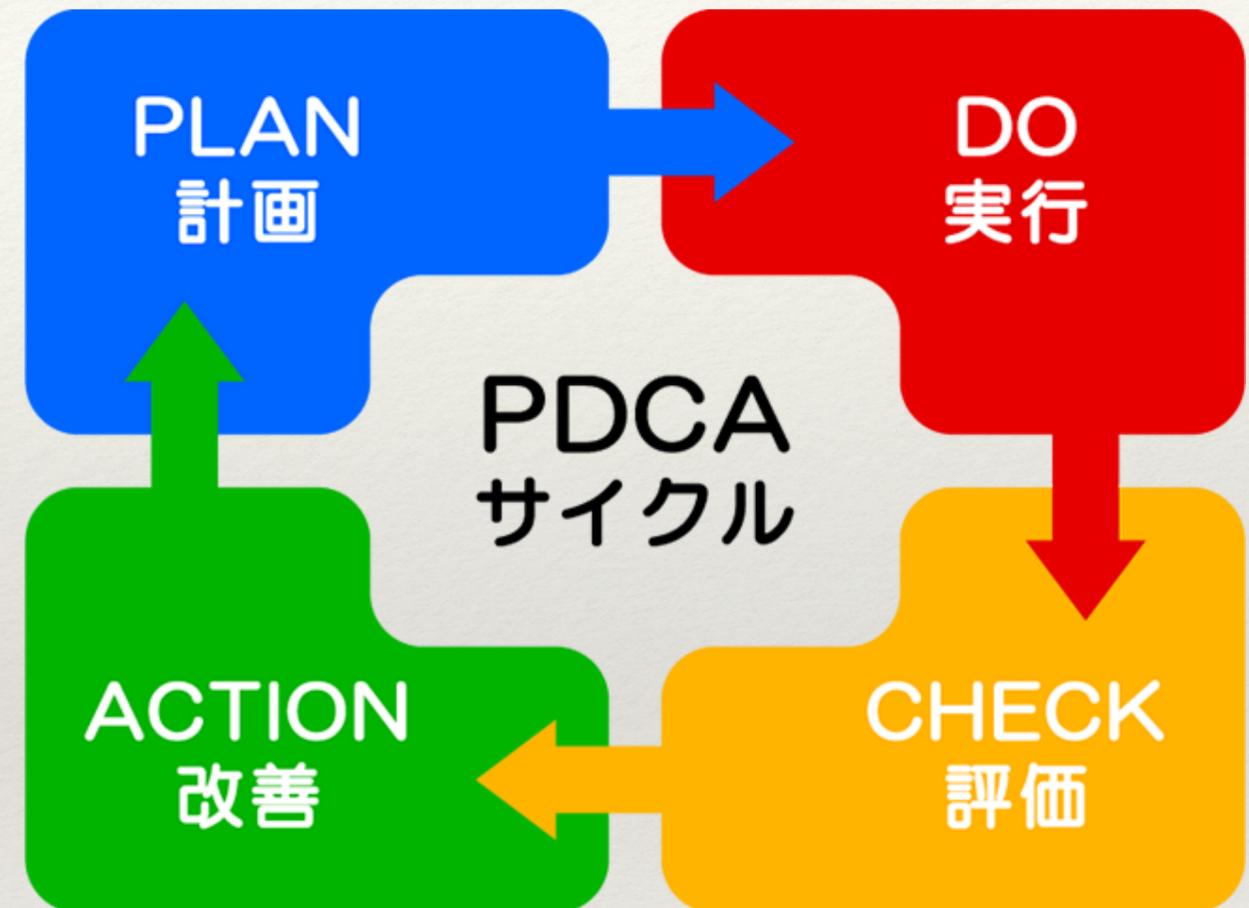


新規性や独創性が問われる

# 「研究」とは何か

P-D-C-Aサイクルの循環

- ❖ 新規性や独創性を確保する上で、P-D-C-Aサイクルが重要なプロセスとなる。
- ❖ 特にP = 計画が重要
  - ✓ 進学：研究計画書
  - ✓ 博士課程：年次計画
  - ✓ 学振特別研究員：研究計画
  - ✓ 研究経費の獲得：科研費申請



＜営み＞としての「研究」

「計画」がカギ

# 「研究は計画が7割」

- ❖ 計画：将来、実現しようとする目標と、この目標に到達するための主要な手段または段階とを組み合わせたもの。
- ❖ 特性：目標の達成時点や目標の内容が明確にされていること、また、目標を最も能率的に達成する手段が選ばれていること。

(『ブリタニカ国際大百科事典』1997)

- ❖ 研究計画を構成する10項目
  - ✓ はじめに
  - ✓ 社会的背景
  - ✓ 研究目的と目標
  - ✓ 研究の社会的意義
  - ✓ 研究の手法と内容
  - ✓ 研究のスケジューリング
  - ✓ 研究で期待される成果
  - ✓ その他参考資料
  - ✓ おわりに
  - ✓ 参考文献

# 研究テーマを決める

## ❖ ジャンルを決める

✓ [https://docs.google.com/spreadsheets/d/1H6mixVsX5rxL3\\_Da-488Fq5OjbES8nieC9LYH1ZXY1A/edit?usp=sharing](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1H6mixVsX5rxL3_Da-488Fq5OjbES8nieC9LYH1ZXY1A/edit?usp=sharing)

## ❖ 先行研究の調査

✓ 文献類 = 読み漁る → 『資料検索入門』、ラーコモの講座

✓ 統計類 = 直観的印象 (内モンゴルの民族別人口構成)

✓ 聞き取り = 最新の動向・情報・人的なネットワーク (専門家に直接聞く経験)

✓ モニタリング = 現場からの情報を最大限に生かす (ベンチ配置の距離)

✓ インターネット = 情報の質に注意

✓ 講演会やワークショップ = 最新の動向や問題、課題 (学問分野、長期継続テスト)

## ❖ すべて、あるいは組み合わせて調査を行ない、テーマを決めていく。(→G Doc)

# 研究タイトルをつける

## ❖ タイトルつけ方の3原則

- ✓ 対象 = 何を対象にしているのか
- ✓ 手段 = どのような手法を用いているのか
- ✓ 実施した内容 = 何をしたのか
- ✓ e.g. 「中国内モンゴルにおける自治運動と民族語教育  
-1930~50年代に着目して- 」

## ❖ 文字数 30 ~ 40 (↑37文字、論文の場合は具体性が上がり、字数増加<50)

## ❖ 実施した内容の表現

- ✓ ~の試作、~の開発、~の提案、~の構築、~の制作、~の評価、~のシミュレーション
- ✓ ~の調査、~の提案/提言、~の予測、~の検討

# 研究タイトルをつける

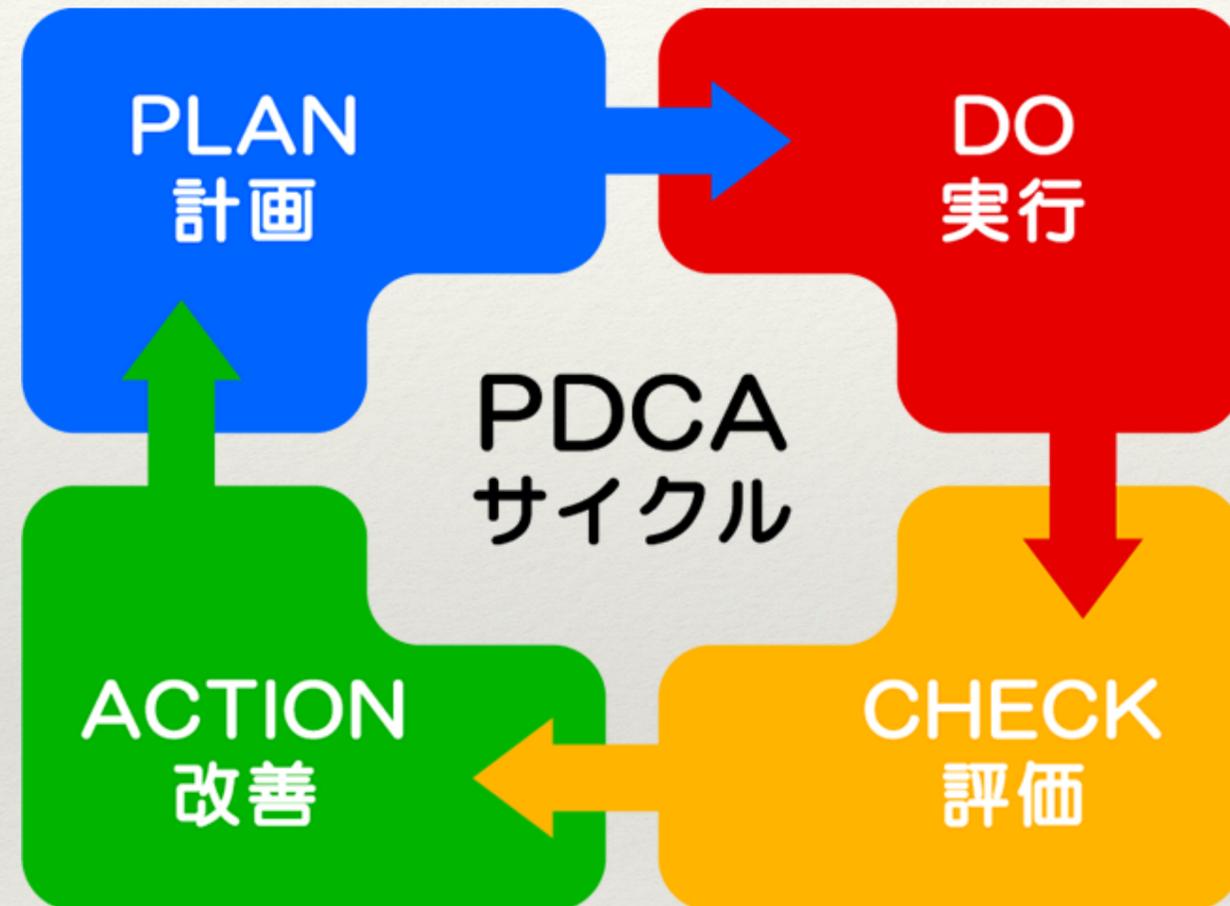
- ❖ タイトル実例 その一\_\_計画書（西山2016、31-33頁。）
  - ✓ 対象、手段、実施した内容
  - ✓ 「患者の院内移動を支援する病院用の自動運転式移動支援車両の試作」（30文字）
  - ✓ 「東京オリンピック開催に伴う必要となる国際観光客向けホテルの客室数予測」（34文字）
  - ✓ 「伝統ある海外の絵画をパソコンで楽しめるバーチャルミュージアムの研究」（33文字）
- ❖ タイトル実例 その二\_\_論文（J-Stage: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>）
  - ✓ 「就職活動時の自己分析・企業分析とキャリアに対する態度が就職先への満足度を与える影響の調査」（44文字）『日本教育工学会研究報告集』
  - ✓ 「大学における中国語教育に見る文化的要素の考察  
-日本で作成された初級・初中級テキストを中心に-」（46文字）『日中言語文化』

# 研究計画を構成する10項目

- ✓ はじめに = 研究の概要
- ✓ 社会的背景 = 社会のニーズ、  
先行研究の不足
- ✓ 研究目的と目標 = 究極と目下
- ✓ 研究の社会的意義 = 新規性、  
独創性
- ✓ 研究の手法と内容
- ✓ 研究のスケジューリング = 流れ、  
時系列
- ✓ 研究で期待される成果 = インパクト
- ✓ その他参考資料 = データ詳細、  
背景情報など
- ✓ おわりに = 研究の抱負
- ✓ 参考文献 = 参考にする文献の全て

# 研究の背景の再考察

P-D-C-Aサイクル



＜営み＞としての「研究」

## ❖ 具体化

- ✓ 動機を見つめ直す：「なぜこのテーマ？」  
「愛」、＜研究の継続＞
- ✓ KJ法：思いつき、断片的知識をつなぎ合わせ、普遍的、統一的な考えに至る技術
- ✓ 聞き取り調査（周囲、教員、利害関係者）  
→テーマの重要性と社会的意義を再確認する
- ✓ 問題（状況・現象）や課題（特定の目標）を明示する

# 研究の目的と目標

P-D-C-Aサイクル

- ❖ 目標は、目的のためにある
  - ✓ 目標は1ステップ、道筋、具体的な達成手段・方法  
(e.g. 言語政策の整理、学校状況の統計、言語使用の実態→統合政策の抽出)
- ❖ 目的は抽象的で良いが、目標は具体的に
  - ✓ 「目的は見たいもの、目標は見えるもの」
- ❖ 目的はオンリーワン、目標はいくつでもある
  - ✓ 目的=人生の夢、1つ、社会貢献している究極の自分
  - ✓ 目標は複数=道しるべ、それがクリアされることによって、目的が少しずつ変わってくることもある

# 研究の意義

P-D-C-Aサイクル

## ❖ 学術的な意義

- ✓ 新しい知見

## ❖ 社会的意義

- ✓ 普遍的である方が価値が高い

## ❖ 自分の成長に有益

- ✓ 自己成長 (e.g. 職業からの習慣)
- ✓ 人生の目的 (着地点)

# 研究の内容・手法、成果

P-D-C-Aサイクル

## ❖ 内容・手法

- ✓ 5W1H (2H)

## ❖ スケジューリング

- ✓ 余裕が持てる計画

- ✓ 「早めに早めに」を習慣に

- ✓ 逆算する能力はだんだん身についてくる（見通し）

- ✓ プレッシャーへの対応

# 参考文献の書き方

論文・著作・サイト

## ❖ 学術論文

- ✓ 西山敏樹,清水浩,電気自動車技術の看護医療サーヴィスの応用,インタフェース学会研究報告集 (ヒューマンインタフェース学会), Vol. 12, No. 11, 2010, pp.1-4.

## ❖ 著作

- ✓ 西山敏樹編著,近未来の交通・物流と都市生活:ユニバーサルデザインとエコデザインの融合,慶應義塾大学出版会,2015,pp.1-132.

## ❖ サイト

- ✓ [http://www.gs-yuasa.com/jp/technic/vol12\\_2/no2.php](http://www.gs-yuasa.com/jp/technic/vol12_2/no2.php) (GXユアサテクニカルリポート,第12巻2号,2015年12月15日現在)

# 参考文献

- ❖ 西山敏樹（2016）『大学1年生からの研究の始めかた』慶應義塾大学出版会。  
（紙媒体：<https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/BB05216237>  
電子ブック：<https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/EB05296201>  
ワークシート集：<https://www.keio-up.co.jp/kup/hbr/>）
- ❖ 小林宣泰（2006）『「研究方法」入門～アイデアを研究にするための13講義』協同医書出版社。

ご清聴どうもありがとうございました。